

日本庭園の抽象化プロセス

日本庭園研究家 中田 勝康 氏



本年9月のSTFセミナーでは、『パラダイムシフト』で読み解く日本庭園～象徴庭園から抽象庭園への変遷～のお話をいただきましたが、残念ながら時間切れで終わってしまいました。参加された多くの方々から大変好評で、是非聴きたいとの要望あり、以下の内容でお話し頂くことになりました。前回、聴講されなかった方々も奮ってご参加ください。

1. 日時：2024年12月7日(土) 14:00～16:45

2. 会場：品川区総合区民センター(きゅりあん) 5F 第4講習室

JR大井町駅東口前 <https://www.shinagawa-culture.or.jp/curian/access.html>

☆WEB(ZOOMオンライン)参加も可能です。

3. 講演概要：

【第1部】

「パラダイムシフト」で読み解く日本庭園の趣旨に沿って、古代から現代までを価値観の変動するごとに、時代背景を多少記し、その時代を画する庭園を示す。すなわち「神仙蓬莱」「極楽浄土」「臨済宗・水墨画」「新しい造形の萌芽」「ルネサンス様式」「浄土真宗」「儒教」「自然主義」が、超大国中国やポルトガル・スペイン・欧米から新しい思想体系がもたらされた。これらの価値観がもたらされると、造形はその都度変化し日本化した。現在の目から評価すると、因習にとらわれた価値基準で作庭された要素もある。しかし、日本庭園は教理をそのまま写しつつも、次第に取舍選択し、抽象化に向かった要素も否めない。

【第2部】

ここでは「抽象化」の視点で、時代の変化による抽象化の進展内容を検証する。特に護岸様式を時系列で検証すると、室町時代末期になると、池庭庭園は水利が恵まれているにもかかわらず、池泉庭園の形式を保ちつつ、涸れ山水庭園(敢えて水のない池)が発生してきた。それと軌を一にするかのように、枯滝などが発生し、更に不思議なことに立石の造形が散見されるようになる。石組みの発生は徐々にではあるが、護岸機能の目的でなく、人工造形の面白さの発見と言える。ここまで達すると天然の水ではなく、人為的な水、即ち「白砂」を使った造形が、自然風景と拮抗することで、より美しい造形に昇華されることを会得した。土地もない、水もない、丘陵地も無い、資金もない。これは「応仁の乱」が原因ではなからうか。この条件下で金地院庭園が生まれた。奥行きのない場所には池は作れない、その代わり白砂を、海洋と見立てた。その結果、神仙蓬莱島は、護岸の無い鶴亀島なり、護岸石組はなくても、島の中に石組みが「てんこ盛り」だ。これを発展させると、重森の東福寺本坊になった。

従来、庭とは「池泉庭園」であったが、自然の真ただ中に、自然風景の真似をしても、創作活動にならない。水の代わりに白砂を、山の代わりに石組みを、決まりきったテーマである、鶴亀、極楽、龍門瀑の代わりに自由な造形の方が興味深いことが解ってきた、と考えられる。今回は「芸術とは」「抽象とは」の文献として、岡本太郎・重森三玲・千利休の「作庭論」「いけばな論」を引用しながら、平坦部の抽象枯山水庭園、石組み構成美庭園、過去の尾名庭を照合し、抽象庭園の造形や意味を共有したい。言い換えるならば、「自然を一度解体して、作者による新しい造景を再構築」することである。造園や「いけばな」のように造形物が自然に近い分野の創作活動は、素材は自然であっても、造形は自然を超えたものにする必要がある。出来上がった造形物に感動を覚える理由は、生の自然の美しさにあるのではなく、その造形物に創造性があるからである。最後に庭園評価基準の考え方を文字・図式・具体的庭園を表示する。

4. 講師略歴：

- ① 1941年生まれ、重森三玲氏に心酔。重森庭園の文化財指定に熱意 名勝 2 庭（東福寺・岸和田城）、登録記念物（高野山など 13 庭）
- ② 古庭園の復元：金地院・福田寺・旧徳島城表御殿
- ③ 重森三玲の襖絵の仮想復元：小河氏・村上氏・越智氏など
- ④ テーマの発見：【栗林公園（小普陀）・保国寺&徳島城（龍門瀑）】
- ⑤ 写真提供：サライ「日本の庭」完全ガイド、平凡社
- ⑥ 講演会：京都大学大学院・各地教育委員会約 15 回（名勝・登録の指定時）
- ⑦ NHK 教養講座（オンライン）講演会のテーマ：「日本庭園が芸術であるためには」
- ⑧ 主な著書：『重森三玲庭園の全貌』・『全貌・日本庭園』

5. 参加費：事前に Peatix (WEB チケット) でお求め下さい。

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ・ STF 正会員 (WEB 参加) : | 500 円 |
| ・ STF 正会員 (会場参加) : | 無料 (要申込) |
| ・ 友好団体会員/メンバー (会場/WEB) : | 1,000 円 |
| 異普奇会、経営支援 NPO クラブ、小石川後樂園庭園保存会、J-SCORE、
次世代農業フォーラム、シニアエキスパートフォーラム (SEF)、テクノメイトコープ (TMC)、
BCC-NET、表界研 など | |
| ・ 学生、講師関係者、当セミナー元講師: (会場/WEB) : | 1,000 円 |
| ・ 一般 (会場/WEB) : | 1,500 円 |

【Peatix の利用法】 <https://stf.or.jp/top/images/file/m517.pdf>

上記 URL を参照しアカウント取得（登録）の手続きをした上でお申込み下さい。

パスワードを忘れた方 ⇒ <https://stf.or.jp/top/images/file/m631.pdf>

Peatix の利用ができない (or 操作不明な) 方は、担当までご相談下さい。

6. セミナー参加申込：期限内に下記 URL からお申し込みください。

<https://peatix.com/event/4182782/>

- ・ 事前申込ない方の当日の会場（飛び込み）参加はできません。
- ・ 申込締切：クレジットカード払いの場合、12月4日（水）24時、コンビニ/ATM（ゆうちょ銀行、ペイジーなど）払い（手数料ご負担下さい）の場合、3日（火）。
- ・ 申込確認ができ次第、順次受付メールを送ります。また、ZOOM ミーティングの URL、パスコード、手元資料などは前日 6 日（金）までに事務局から配信されます。
- ・ 領収書の必要な方 ⇒ <https://stf.or.jp/top/images/music/m380.pdf>

※ 講演中の画面撮影や録音などは、ご遠慮願います。

[NPO 科学技術者フォーラム \(STF\)](#)

セミナー担当 山岸 任

E-mail jiny@sf6.so-net.ne.jp

Mobile 080-5511-1380
